

PDサロン マリーゴールド

vol.01
2020年4月

白井病院 パーキンソン病ニュースレター



『サロン・マリーゴールド』 をはじめます！

当院ではパーキンソン病の患者様、ご家族や関わりのある人たちが交流し、病気に対する理解や困りごとを「話し合える・相談できる」場を提供させていただきたいとの思いで「サロン・マリーゴールド」を始めることとなりました。

当サロンは、医師をはじめ、薬剤師、公認心理士、リハビリテーション療法士、管理栄養士などの専門職も参加し、交流会・勉強会・リハビリ体操などを行い、皆様の不安や心配事などが少しでもやわらぎ、いきいきと生活していただけるお手伝いができればと考えております。

スタッフ一同、皆様が気軽に参加していただき、心と体が少しでも軽くなって帰れる、そんな場所をめざしてまいります。

*新型コロナウイルスの影響により開催は7月以降の予定です。詳しいことが決まり次第お知らせいたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

マリーゴールドの花言葉は「逆境を乗り越えて生きる」「健康」です。病気で辛いこともあります、うまくつき合っ
て暮らしていけるようお願いを込めました。

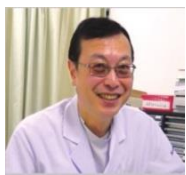
パーキンソンの集いについて

新型コロナウイルスの影響で日程が変更になりました

次回2020年6月5日 13:00～

令和2年 4月3日(金)	休み
令和2年 6月5日(金)	非薬物療法 リハビリ
令和2年 8月7日(金)	自律神経症状
令和2年10月2日(金)	精神症状
令和2年12月4日(金)	嗅覚障害

レム睡眠行



脳神経内科部長
奥村一哉 医師

パーキンソン病は薬物療法の進歩により生命予後は病気がない方と殆ど変わらなくなりました。患者は家族の支えがあって病気と戦うことができます。患者と家族の心の絆を強くすることが大切です。勉強会にお気軽にご参加下さい。

パーキンソン病と共に生きる

はじめまして。公認心理士の北井愛です。今後不定期ではありますが、パーキンソン病を患うことでの苦痛を少しでも緩和するための工夫を「パーキンソン病と共に生きる」と題して心理士の立場からお伝えしていければと思っています。よろしくお願ひします。

公認心理士 北井愛



日常生活の工夫 歩行

こんにちは。作業療法士の志賀和未です。

パーキンソン病は普段している意識せずに行う動作がしにくくなります。

普段の生活に関する工夫や自宅でできるリハビリ体操などを紹介していきます。

Q.歩きははじめに足がすくんでしまいます。

A. かけ声をかけたり、線をまたぐようにして歩きましょう。自宅であれば、床にテープで線の印をつけるのも効果的です。

介助では引っ張ったり押ししたりすると余計に体が硬直してしまうことがあります。ご本人のペースに合わせてかけ声をかけたり、目標物を一緒に目で確認すると歩きやすくなります。



いちに、いちに



リハビリテーション療法科 作業療法士 志賀和未



医療法人 白卯会 〒590-0503

白井病院

大阪府泉南市新家2776番地

HP www.shiraihp.or.jp

ホームページ
QRコード

☎072-482-2011

